



第2回「地方創生SDGs金融表彰」の受賞について

千葉銀行（頭取 米本 努）は、2023年2月13日（月）、地域におけるSDGs普及促進の枠組みとして参加している「ちばSDGs推進ネットワーク」を生かした官民連携による地方創生の取組みが、内閣府の第2回「地方創生SDGs金融表彰」を受賞しましたのでお知らせします。

本表彰は、地方公共団体と地域金融機関等との連携による地方創生の取組みを加速させることを目的として、SDGsの考え方を生かした実効性の高いプロジェクトを内閣府が選定・表彰するものです。

当行は、今後も地域社会のパートナーとして、グループを挙げて地方創生への取組みに積極的に参画し、地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

＜受賞事例＞

タイトル	「ちばSDGs推進ネットワーク」を生かした官民連携による地方創生の取組み
受賞団体	ちばSDGs推進ネットワーク 【代表地方公共団体】千葉県 【代表地域金融機関】(株)千葉銀行 【協働応募団体】 (株)京葉銀行、(株)千葉興業銀行、千葉県信用保証協会 (一社)千葉県商工会議所連合会、千葉県経済同友会 (一社)千葉県経営者協会、(一社)千葉県経済協議会 千葉県商工会連合会、千葉県中小企業団体中央会、千葉県中小企業家同友会
事例概要	<ul style="list-style-type: none">千葉県にて、2021年11月、県内企業等におけるSDGs推進の機運醸成と具体的な取組みの後押しをするため「ちばSDGsパートナー登録制度」（以下、パートナー登録制度）を制定。2022年1月、パートナー登録制度の趣旨に賛同した当行を含む地域金融機関および経済団体等と、千葉県の計12企業・団体（上記「受賞団体」記載）が参加し、SDGsの普及啓発・SDGsに取り組む企業等への支援を目的に「ちばSDGs推進ネットワーク」を発足。SDGsおよびパートナー登録制度の啓発に千葉県経済界を挙げた体制を構築したことで、登録件数が1,614団体（1月30日時点）に達するなど、SDGsに取り組む県内企業等の裾野拡大につながっていることが高く評価されました。

以上



(表彰式にて岡田内閣府特命担当大臣とちばSDGs推進ネットワークの受賞団体)